

# 有機健康 つうしん

遠赤青汁通信 (H30.12.1発行)

四国・愛媛から世界へ。青汁で世界中の健康を応援します！

**遠赤青汁株式会社**

〒791-0398 愛媛県東温市則之内甲2225-1  
TEL フリーダイヤル **0120-148-162**  
ホームページ <http://www.enseki.com>

「届け！陽光桜の想い」  
世界最大級の展示会に参加してきました。



ジェトロのジャパンパビリオンブースは、多くのご来場者をいただきました。



フランス語や英語のチラシを駆使しながら、商品の説明を行います。高岡は日本語で熱く語りかけます。海外でもトークの熱さは変わりません。細かいニュアンスは通訳におまかせして、想いを届けます。



ジャパンパビリオンの愛媛県ブースには、みかんジュースをはじめ、地酒など愛媛の物産もすらすらと並べられています。遠赤青汁は陽光桜茶の「SAKURA」、着物の帯から発想した古典柄で日本らしさをアピールしました。



陽光桜茶の下にも帯を敷いています。桜の模様がきれいです。

SIAL PARIS (シアル・パリ) は二年に一回開催される、世界最大級の食の見本市・展示会です。パリ・ノール見本市会場で行われました。

世界的な「日本食人気」を背景に、ジェトロ (日本貿易振興機構) も、ジャパンパビリオンを開設して「WASHOKU」(和食) をアピールしました。遠赤青汁では、開発中の「陽光桜茶」を中心に、青汁や黒にんにく商品など、オーガニック食品をアピールしました。

ヨーロッパでもお茶は人気で、煮出す以外にも、水出しとしても楽しまれています。日本の軟水に対して、ヨーロッパは硬水が主流なので、色や香りの出方が異なります。今回提案した「陽光桜茶」は、どちらでも楽しめるアレンジ自在のお茶になったのではないかと思います。

今回、展示会でうかがった皆様のご意見を参考に、「陽光桜茶」の商品開発をすすめていきたいと思えます。桜だけではなく、その若葉を使ったお茶を世界にお届けできる日も近いのではないのでしょうか。

今後も、皆様に安心してお使いいただける製品づくりに、精一杯努めてまいります。よろしく願いします。



買い付けにくる錦鯉の会社様を訪問し、ご意見をいただいたり、海外経験の長い方にお話しを聞いたり、様々な角度から情報収集を行いました。

平和の桜、陽光桜を世界へ届ける想いを亡父から引き継ぎました。陽光の花に癒されると言ってくださる方も多くいらつしやいます。

「日本らしさって何だろう？」  
世界各国から来られるバイヤーの方に注目してもらうために、日本らしい、華やかなブース作りを目指しました。海外からも

ヨーロッパに限らず、アジア圏など他の地域からも商談をいただきました。桜に国境はないのかもしれません。



弊社は、平成二十年から化粧品製造販売業の許可を取得し、石けんの販売を開始しました。当初半年は、製造は外部委託でしたが、翌年には農工商連携事業の補助を受け、石けん製造機械を購入、化粧品工場としての整備を行い、自社製造の体制が整いました。

化粧品製造販売許可証更新しました

許可番号: 38C0310007

化粧品製造販売業許可証

氏名又は名称: 遠赤青汁株式会社

主たる職能を有する事務所の名称: 遠赤青汁株式会社

主たる職能を有する事務所の所在地: 愛媛県高岡市則之内甲2229番地1

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第12条第1項の規定により許可された化粧品製造販売業者であることを証明する。

平成30年8月30日

愛媛県知事 中村 未守 印

有効期間 平成30年9月4日から平成35年9月3日まで

38C00800078

# 農地再生に

## 挑む

今年台風が多く、愛媛県では大水害で被害が出た地域もありました。被害にあわれた方には、謹んでお見舞い申し上げます。

丹原町の農地は元々扇状地のため、水はけが良い土地です。ただ、今回の水害は予想を超える雨の降り方でした。農場も水浸しになったのは、一度や二度ではありませんでした。さらに降らない時は全く雨が降らず、猛暑続き。農場には厳しい夏でした。

十月に入ってもまだ台風接近の心配が続き、毎年行っていた高校生達とのケールの定植作業も延期。さらに、二週続きの台風接近でとうとう中止になってしまいました。ケールの定植は時期も限られているため、残念ながら今年はずべて社員だけで植えることになりました。

「農地再生に挑む」では、放置された農場を再生し、有機圃場として生まれ変わる様子をシリーズとしてお伝えしています。

ケールの定植は雨の間をぬって行われました。植える作業は、それほど大変ではありません。肝心なのは、ケールを植える土台です。雨で重くなった土を、トラクターで畝を立てていきマルチを張ります。

苗を農場に植え替えていく作業は、一本ずつ深さを決め、しっかりと根元を抑えていくので、丁寧が必要となります。作業を急ぐあまり、抑えが来ていないと、雨が降って、水が土の表面を流れ出すと苗が浮き、土から抜けてしまったりします。

植えたばかりのケールの苗は鳥にも襲われます。カラスは、好奇心旺盛です。苗がゆらゆらと揺れる様を見て、引っこ抜きにくることもあります。どちらにしても、ちゃんと根元を抑えて、しっかりと植えることが大事です。

一週間前に植えられたにんにくからは、もう芽が出ていました。葉はネギやニラに似ています。



種になるにんにくは昨年収穫し、保存してあったものを使います。一晩水につけているので、もう芽がはじめているものもあります。

ケールの定植が終わるとすぐに、にんにくの植付作業が始まります。こちらは穴をあけているので深さも決まっています。この中に、にんにくの向きを気をつけて入れ、土をかぶせていきます。数は何千個にもなります。植え付け作業が終わると、マルチの穴から伸びてくる草を引きながら、収穫まで生育を見守っていきます。

## 桜も成長 しています。

弊社では、西条市丹原町の太陽光発電システムの下で、陽光桜の苗木を育てています。



太陽光システムというところ、ご家庭にあるような大きなパネルを想像する方も多いと思いますが、弊社の太陽光システムのはほとんどは、パネルとパネルの間にすきまがあり、それが屋根となっており、その下で植物を栽培することが出来るソーラーシェアリング方式を採用しています。

この数年、夏の猛暑対策が、農作物を栽培する上で大きな課題となっています。今年の夏も記録を更新する猛暑でした。ソーラーシェアリングは、太陽光発電を行いながら、少し影を作って間引いた光で作物を育てることが出来ます。また、農業だけの収入では後継者の生活もままならないとして、それを補う新しい農業経営の方法としても注目されています。弊社はいち早く地域の農業復興のモデルとして、この方式に着手し、今では西日本最大級のソーラーシェアリング型農場を持つようになりました。

今、栽培している陽光桜の苗木からは、葉を収穫しています。この葉を乾燥してお茶にしたり、粉碎してパウダーにするなど、新しい商品として販売を予定しています。

桜の香り豊かなお茶は、海外でも人気です。春には桜を見ながら、陽光桜のお茶を飲むのも楽しみのひとつとなります。



最初は、腰の高さより低かった苗木もソーラーパネルの近くまで成長しました。春になると、陽光桜の濃いピンク色の花が咲き、パネルの下も明るくなります。



にんにくの植付作業の前にケールの定植は終了していました。1週間くらいで、高さ15cmくらいまで成長しています。朝露を浴びて、生き生きとした緑色は何とも言えず、美しいです。



種になるにんにくは、一片ずつ既にあげられている穴に挿し込んでいきます。これも向きがあって逆さで埋めると、芽が出るのが遅く、形が悪くなります。ちょっとしたことですが、気を使いながら作業しています。



黙々と作業が続いています。声をかけながら、つぎつぎとにんにくを植える穴をあけています。二人が持っている青い器具は、釘の頭のようなものが4本ついていて、等間隔に開いているマルチの穴に差し込み、深さを一定にしています。

EVENT

# ロサンゼルス初上陸!

(二〇一八年九月二十二日〜二十三日) アメリカ・ロサンゼルス



TOKYO CENTRAL は地元ロサンゼルスでも有名な日系スーパーマーケットです。



建物の中の雰囲気も、アメリカっぽい感じです。日系の方が多く来店されるそうです。

●マルカイ・コーポレーション  
一九六五年に創業。日本からの輸入販売を主業務に、海外日系小売業では初の「会員制マルカイホールセールマーケット」をカリフォルニアおよびハワイで開始。

米国はオーガニック先進国でもあります。現地の方はどのように遠赤青汁を見られるのか、何をアピールするべきなのか、海外で販売するとまた日本での販売とは違う学びや課題が生まれます。今後も、チャレンジを続けたいと思います。

「TOKYO CENTRAL」は二〇一五年に誕生。日本と現地の食文化を融合させ、豊富な惣菜や日本からの輸入食品などを提供しています。弊社はハワイのマルカイで、毎年販売を行っており、今回の販売にもPOPの出し方や商品説明など、その経験が生かされました。



英語表記のPOPが並ぶ遠赤青汁ブース

# 国際次世代農業EXPOに参加しました。

(二〇一八年十月十日〜十二日) 幕張メッセ



「スゴ技」と題した愛媛県ブースでの展示となりました。農業関係者に粉末やチップなど乾燥・加工の技術をアピールしました。

国際次世代農業EXPOは、IT農業、ソーラーシェアリング、六次産業化、植物工場など、農場を強くするための次世代の技術や製品が一堂に集まる展示会です。今回は愛媛県ブースに出展し、農作物の乾燥や粉砕加工など、従来からの青汁で培ってきた技術をアピールさせていただきました。

多くの農家さんは、栽培した生産物が一定の規格を外れ、出荷できないもの(副産物)の処理に頭を悩ませています。廃棄するのももったいないので、何かできないかと相談をいただきます。弊社には乾燥し、粉末や粒にする加工技術があり、近年は機能性表示食品として申請するノウハウもあります。これからお役に立てただけだと思う、展示会でお客様の声を聞いていきたいです。

(営業部 久保)



## 四国八十八箇所 六十七番札所

### 小松尾山 大興寺

(こまつおざん だいこうじ)

香川県三豊郡山本町辻小松尾4209



弘仁13年(822)年、弘法大師によって開創されたと伝えられます。この寺は真言・天台両宗によって管理されていた為、弘法大師の大師堂のほかに、天台大師(智顛=ちぎ。中国で天台宗を広めた高僧)の大師堂が残されています。

この寺の仁王像は札所のなかでも最大といわれ、鎌倉時代の仏師・運慶の作と伝えられており、四国最古といわれています。この仁王の首は江戸時代に新しくされており、江戸の大火で知られる八百屋お七の恋人の吉三郎(きちさぶろう)が、お七の菩提を弔う為、四国遍路の旅で集めた布施で寄進されたといわれています。

### 本堂の「七日燈明」

願い事を書いたろうそくを本堂内部で、7日間灯し続ける七日燈明。病氣平癒、安産、良縁などのご利益があるとされています。



# 地元中学生が職場体験実習 遠赤青汁で働いてみよう！



去る八月二〇日〜二十四日の五日間、地元川内中学校の二年生が、職場体験として弊社に来てくれました。

職場体験は生徒が事業所などの職場で働くことを通じて、職業や仕事の実際について体験したり、働く人々と接したりする活動で、文部科学省が推進しています。

職業生活に必要な基礎的な知識や技術・技能の習得への理解や関心、さらには勤労観、職業観の育成のために、五日間で農場や工場の作業実習の他、実際の商品を販売するまでの、六次化の流れを体験していただくことにしました。



桜の葉を一枚一枚ちぎる作業を行ってもらいました。桜の葉がお茶になるなんて想像してなかったかもしれないですね。



収穫した葉を洗浄して乾燥していきます。桜の葉からはむせ返るような香りが漂っています。



「青汁いかがでしょうか？」無料試飲コーナーも設置。お客様におススメします。



無料サンプルを配りながら、青汁をアピールします。

まずは、遠赤青汁を知ってもらうことです。工場長が資料を作り、「遠赤青汁の商品、仕事内容」について、また「食品加工において大事な事とは何か」等、話をしました。

二日目は、農場体験。桜の葉をちぎる作業を行いました。これは外での作業です。屋根があるとはいえ、今年は暑かったので大型扇風機を用意し、暑さもすっかり対策します。

その後は、工場で実際に葉を洗浄して乾燥させるまでの作業を手伝いました。衛生面を考えて髪や耳が隠れる帽子を着用します。夏場なので、なかなかの暑さです。



こんなにしてみたら？ディスプレイも中学生が考えました。ずらりと並べると、なるほど迫力が出ますね。



石けんの販売では、お客様に手を洗ってスベスベしっとりを感じてもらいます。最初の1個が売れた時は、皆で感動しました。



中学生の奮闘に、東温市のゆるキャラ「いのとん」も応援にかけつけてくれました。

四日目はいよいよ販売体験です。東温市観光物産センターの入り口にブースを構えます。中学生達に展示のアイデアを考えしてもらいました。

「石けんを売るにはどうしようか？」。石けんは実際に泡に触れて体感してもらって販売しています。石けんから泡を作って渡す人、泡を使って手を洗った後に水をかけて流す人、流した水を受け

るバケツも必要ですし、手を拭いてもらうための紙ナプキンを差し出す人が必要です。作業を分担して、最後は「いかがですか？」と販売にこぎつけないといけません。準備中は賑やかな雰囲気でしたが、いざお客様の前にすると緊張して、声が出てきません。さっきまでの元気はどこに？（笑）

この日はあいにく台風が近づいており、二時間ほどしか販売が出来ませんでした。成果を出すことができませんでした。終わってみれば、五日間はあつという間でした。私達も、自分たちの仕事を客観的に見ることで、また販売トークも中学生ならではの個性があり、勉強になりました。

大人になって、遠赤青汁に入りたいなと思ってくれる子がいたら、嬉しいですね。これからも応援しています。

おたより広場にメッセージをお寄せください！！

〒791-0311 愛媛県東温市則之内甲2225番地1 遠赤青汁株式会社 ※お寄せいただいたお便り等は、その他の目的で使用することはありません。

有機健康つうしんおたより広場 係あて mail:aojiru@enseki.com

